西毛地区
MAP
A
B
C
D
1
2
3
4
5
6
東吾妻町
長野原町
渋川市
榛東村
吉岡町
前橋市
高崎市
安中市
下仁田町
富岡市
甘楽町
南牧村
藤岡市
神流町
上野村
埼玉県
長野県
榛名湖
赤城IC
渋川伊香保IC
前橋IC
高崎IC
前橋南IC
碓氷軽井沢IC
松井田妙義IC
富岡IC
下仁田IC
吉井IC
藤岡IC
道の駅 くらぶち・小栗の里
道の駅 みょうぎ
道の駅 しもにた
道の駅 オアシスなんもく
道の駅 甘楽
道の駅 ふじおか
道の駅 上州おにし
道の駅 上野
道の駅 万葉の里
神津牧場
群馬サファリパーク
白衣大観音
上越線
上越新幹線
北陸新幹線
信越本線
上信電鉄
八高線
吾妻線
N

23 世界遺産 国宝・国重要文化財・国史跡【製糸】

富岡製糸場（とみおかせいしじょう）

明治5年（1872）に明治政府が設立した官営の器械製糸場です。民営化後も一貫して製糸を行い、115年間操業されました。長さ100mを超える木骨煉瓦造の繭倉庫や繰糸所など創業時の主要な施設がほぼ完全に残されています。

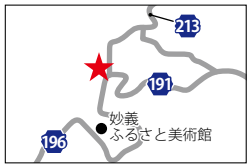
●場所／富岡市富岡1-1
●交通／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／休場日:12月29～31日、詳細はHP参照
●料金／大人1,000円、高大学生（要学生証）250円、小中学生150円 詳細はHP参照
● 問 ／富岡製糸場　TEL 0274-67-0075（場内総合案内所）

24 富岡市重要文化財【流通】

妙義神社青銅製燈籠（みょうぎじんじゃせいどうせいとうろう）

妙義神社入り口の階段の手前に建つ総高4.35mで一対の青銅製の燈籠です。元治元年（1864）6月、「養蚕倍盛・商売繁盛」を祈願して諸国の糸繭商人、諸商人、養蚕家の人々など合計223人の寄進により建てられました。

●場所／富岡市妙義町妙義3
●交通／JR信越線松井田駅から車約10分
上信越自動車道松井田妙義I.Cから約5分
●見学／随時見学可
● 問 ／富岡市文化財保護課　TEL 0274-62-1511



25 富岡市重要文化財【流通】

貫前神社唐銅製燈籠（ぬきさきじんじゃからがねせいとうろう）

貫前神社総門の前に建てられた高さ3.95mの一対の青銅製の燈籠で、慶応2年（1866）に、養蚕や生糸生産の繁栄興隆を願って建てられました。県内各地の養蚕農家や生糸商人、さらには東京や横浜の生糸・絹商人合計1,544人が献金しました。

●場所／富岡市一ノ宮1535
●交通／上信電鉄上州一ノ宮駅から徒歩約10分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／随時見学可
● 問 ／富岡市文化財保護課　TEL 0274-62-1511

26 富岡市・下仁田町重要文化財【流通】

旧上野鉄道関連施設 鬼ヶ沢橋梁（きゅうこうずけてつどうかんれんしせつ おにがさわきょうりょう）

上野鉄道は軌道幅の狭い軽便鉄道で、明治30年（1897）に富岡や下仁田地域の繭や生糸、蚕種等の輸送のために建設されました。鬼ヶ沢橋梁は長さ10m、幅1mの鉄橋で、国産の鉄橋としては最も古い時期のものです。土木学会選奨土木遺産にも選出されています。

●場所／富岡市南蛇井、下仁田町大字白山
●交通／上信電鉄千平駅から徒歩約15分
上信越自動車道下仁田I.Cから約10分
●見学／見学困難
● 問 ／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511
下仁田町歴史館 TEL 0274-82-5345

27 富岡市史跡【製糸】

富岡製糸場工女等の墓（海源寺）（とみおかせいしじょうこうじょとうはか かいげんじ）

官営工場時代に、全国から集まった工女たちの中には、故郷を離れての慣れない集団労働のため、若くして病に倒れ、この地で亡くなった人もいました。海源寺には明治6年～9年（1873～1876）に亡くなった工女・工男の3基の墓があります。

●場所／富岡市富岡150
●交通／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／墓参り可能
● 問 ／富岡市文化財保護課　TEL 0274-62-1511

28 富岡市史跡【製糸】

とみおかせいしじょうこうじょとう　はか　りゅうこうじ
富岡製糸場工女等の墓（龍光寺）

官営工場時代に、全国から集まった工女たちの中には、故郷を離れての慣れない集団労働のため、若くして病に倒れ、この地で亡くなった人もいました。龍光寺には、明治7年（1874）から民営化後の明治34年（1901）までの工女の墓があります。

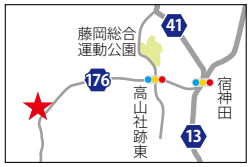
●場所／富岡市富岡1093
●交通／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
　　上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／墓参り可能
● 問 ／富岡市文化財保護課　TEL 0274-62-1511

29 世界遺産 国史跡【養蚕・教育】

たかやましゃあと
高山社跡

中世からの旧家高山家に生まれた長五郎は、「清温育」という養蚕飼育法を確立し、この地に養蚕教育機関高山社を設立しました。今も残る主屋兼蚕室は、清温育のために工夫された構造で、高山社分教場として多くの生徒の実習に利用されました。

●場所／藤岡市高山237
●交通／JR群馬藤岡駅からバス約35分
　　上信越自動車道藤岡I.Cから約20分
●見学／休館日：12月28日～1月4日、団体は要予約
● 問 ／藤岡市文化財保護課　TEL 0274-23-5997



30【養蚕】

たかやまちょうごろう　はか
高山長五郎の墓

高山長五郎は明治19年（1886）に56歳で亡くなりました。その墓は高山家の菩提寺である曹洞宗興禅院の最も奥に位置しています。興禅院は高山社跡から南西200mほど離れた高台にあり、高山社跡とその周辺の美しい景観が望めます。

●場所／藤岡市高山288
●交通／JR群馬藤岡駅からバス約35分＋徒歩約5分
　　上信越自動車道藤岡I.Cから約20分
●見学／墓参り可能
● 問 ／藤岡市文化財保護課　TEL 0274-23-5997

31 藤岡市重要文化財【養蚕・教育】

たかやまちょうごろうこうとくひ
高山長五郎功徳碑

「養蚕改良高山社」を創始した高山長五郎の生前の功績を伝えるため、高山社社員はじめ全国24府県1,716名の寄附者により、明治24年（1891）に建てられました。諏訪神社境内には功徳碑のほか、寄附者名を刻んだ石板や功徳碑正門の門柱も残されています。

●場所／藤岡市藤岡495（諏訪神社内）
●交通／JR群馬藤岡駅から徒歩約20分
　　上信越自動車道藤岡I.Cから約15分
●見学／随時見学可
● 問 ／諏訪神社　TEL 0274-22-0414

32 藤岡市重要文化財【養蚕・教育】

まちだきくじろうしょうとくひ
町田菊次郎頌徳碑

高山長五郎の遺志を継ぎ、明治19年（1886）に高山社二代目社長に就任した町田菊次郎を記念した碑です。菊次郎は内国勧業博覧会で受賞するなど高山社の名声を高めたほか、明治34年（1901）には甲種高山社蚕業学校を開校し、清温育を全国に普及させました。

●場所／藤岡市藤岡495（諏訪神社内）
●交通／JR群馬藤岡駅から徒歩約20分
　　上信越自動車道藤岡I.Cから約15分
●見学／随時見学可
● 問 ／諏訪神社　TEL 0274-22-0414

33【養蚕・教育】

まちだきくじろうせいかたく
町田菊次郎生家宅

高山社二代目社長である町田菊次郎の家で、高山社の分教場としても活用されました。主屋に隣接する「桑場」と呼称する建物も残っており、内部の柱には当時の生徒が書いた落書きが残されています。

●場所／藤岡市本郷
●交通／JR群馬藤岡駅から車約10分
　　上信越自動車道藤岡I.Cから約15分
●見学／個人宅のため、非公開　外観のみ見学可
● 問 ／藤岡市文化財保護課　TEL 0274-23-5997

34 【流通】

すわじんじゃじょうやとうおよ　ちょうずいし
諏訪神社常夜燈及び手水石

江戸時代の藤岡は、絹商人の生絹の買い付け拠点として、県内随一の取引量を誇っていました。境内にある常夜燈と手水石は、当時月12回開かれていた藤岡の絹市で利益を得た呉服問屋の三井越後屋が感謝の思いを込めて奉納したものです。

●場所／藤岡市藤岡495（諏訪神社内）
●交通／JR群馬藤岡駅から徒歩約20分
上信越自動車道藤岡I.Cから約15分
●見学／随時見学可
● 問 ／諏訪神社　TEL 0274-22-0414

35 【流通】

すわじんじゃみやみこし
諏訪神社宮神輿

藤岡の絹市に出店していた絹商人のうち、呉服問屋の三井越後屋が感謝の思いを込め、安永9年（1780）に諏訪神社に男女２基の宮神輿を奉納しました。この宮神輿は毎年７月中旬に開催される「藤岡祭り」で渡御（とぎょ）されます。

●場所／藤岡市藤岡495（諏訪神社内）
●交通／JR群馬藤岡駅から徒歩約20分
上信越自動車道藤岡I.Cから約15分
●見学／通常非公開。毎年7月中旬に開催される「藤岡祭り」で渡御される。
● 問 ／諏訪神社　TEL 0274-22-0414

36 【養蚕】

ぬいじまけじゅうたく
縫島家住宅

高山社の社員で養蚕農家の塚越兵衛門が建て、高山社の分教場としても活用されました。屋根には高山社跡と同様の3つの越屋根が残っています。昭和10年（1935）に縫島家が購入した後も、引き続き養蚕が行われていました。

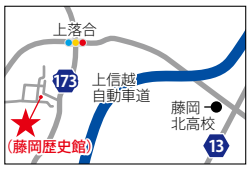
●場所／藤岡市中
●交通／JR群馬藤岡駅から車約15分
上信越自動車道藤岡I.Cから約5分
●見学／個人宅のため、非公開　外観のみ見学可
● 問 ／藤岡市文化財保護課　TEL 0274-23-5997

37 【教育】

ようさんかくかい　つけたりほうじょう
養蚕畫解 附褒状

「養蚕畫解」は、高山社で学んだ吉田蔦三郎が描いた掛け軸３軸の総称です。各軸とも図や表が描かれており、高山社の養蚕指導の記録としてとても貴重です。また、明治36年（1903）の内国勧業博覧会へ出品して受賞した時の褒状も残っています。

●場所／藤岡市白石1291-1（藤岡歴史館）
●交通／上信越道藤岡I.Cから約15分
JR群馬藤岡駅から車約20分
●見学／企画展示時等に公開
高山社情報館にてパネルを常設展示
● 問 ／藤岡市文化財保護課　TEL 0274-23-5997

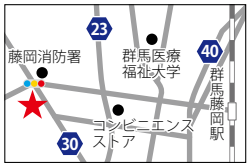


38 【養蚕】

ふくしまもとしちけんしょうひ　ふくしまおう　ひ
福島元七顕彰碑（福島翁の碑）

「福嶋式桑刻機」を発明した福島元七を称え、昭和4年（1929）に建てられました。高山社の清温育では、蚕の成長に合わせて、与える桑葉の大きさを変えていたため、桑葉を刻む作業は農家の負担でした。この桑刻機は好評を博し、朝鮮や中国でも販売されました。

●場所／藤岡市藤岡1152
●交通／JR群馬藤岡駅から徒歩約10分
上信越自動車道藤岡I.Cから約10分
●見学／随時見学可
● 問 ／藤岡市文化財保護課　TEL 0274-23-5997

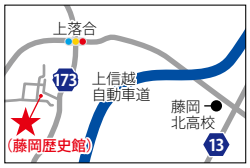


39 【製糸】

じょうしゅうしんまちえきぼうせきじょはんぎ
上州新町驛紡績所版木

明治10年（1877）に明治政府によって造られたくず繭から糸を作る新町紡績所の、往時の外観を青、黄、黒、緑、灰、茶の6色刷りの錦絵にするための版木です。作者は石川徳太郎で、明治10年～17年（1877～1884）頃に作製。約24×34ｃｍの板3枚の両面に図柄が彫られています。

●場所／藤岡市白石1291-1（藤岡歴史館）
●交通／JR群馬藤岡駅から車約20分
上信越道藤岡I.Cから約15分
●見学／企画展示時等に公開
● 問 ／藤岡市文化財保護課　TEL 0274-23-5997



40 国重要文化財【流通】

うすいとうげてつどうしせつ
碓氷峠鉄道施設

明治26年（1893）横川-軽井沢間に碓氷線が開通しました。急勾配をアプト式の登坂機構で克服し、当時の重要な輸出品であった生糸や繭等を運びました。レンガ造りのアーチ橋やトンネル、旧丸山変電所が残っています。

●場所／安中市松井田町横川・坂本
●交通／JR信越線横川駅から車約15分
上信越自動車道松井田妙義I.Cから約25分
●見学／随時見学可
● 問 ／安中市学習の森　TEL 027-382-7622

41 県重要文化財【製糸】

きゅううすいしゃほんしゃじむしょ
旧碓氷社本社事務所

碓氷社は明治11年（1878）に農家が組合員となり組織した、県内初の組合製糸。仕上げの揚げ返しを共同で行い生産した生糸は、器械製糸に勝るとも劣らないものでした。明治38年（1905）建設の本社は、外観は和風で構造は洋式の建物です。

●場所／安中市原市2-10-16
●交通／JR信越線磯部駅から車約10分
上信越自動車道松井田妙義I.Cから約20分
●見学／外観のみ見学可
● 問 ／安中市学習の森　TEL 027-382-7622

42 安中市重要文化財【製糸】

うすいしゃばんこくはくらんかいえいぶんひょうしょうじょう
碓氷社万国博覧会英文表彰状

碓氷社は自社製生糸の品質を国際的に認めてもらうため、海外の万国博覧会に積極的に出品しました。明治13年（1880）のメルボルン万博（オーストラリア）と、明治26年（1893）のシカゴ万博（アメリカ）で受賞した際の表彰状です。

●場所／安中市上間仁田951（学習の森ふるさと学習館）
●交通／JR信越線安中駅から車約15分
上信越自動車道富岡I.Cから約15分
●見学／休館日:火曜、祝日の翌日、年末年始
●料金／一般100円、企画展開催時は別料金
● 問 ／安中市学習の森　TEL 027-382-7622

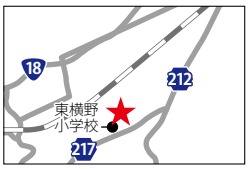
43 市指定重要無形文化財（太々神楽）【養蚕】

さきさきじんじゃほんでん　つけたりまっしゃきぬがさじんじゃ　かぐらでん
咲前神社本殿 附末社絹笠神社・神楽殿・

ねこいし　だいだいかぐら
根子石・太々神楽

咲前神社は養蚕の守護神として古くから信仰され、神社の御札はネズミ除けとなり、「根子石」に小石を置き、願掛けすると豊蚕になるといわれています。春祭りでは「蚕安全之御祈祷」を行い、太々神楽を奉納。また、境内末社の絹笠神社から御分霊が碓氷社の一角にまつられています。

●場所／安中市鷺宮3308
●交通／上信越自動車道富岡I.Cから 約20分
ＪＲ信越線 安中駅から車約10分
●見学／随時見学可（太々神楽は4月1日のみ）
● 問 ／咲前神社　TEL 027-381-2726



44 【養蚕】

きぬがさじんじゃしゃでん　つけたりそうさいちょうひのひ
絹笠神社社殿 附霜災懲毖之碑

絹笠神社は、蚕の神である絹笠明神を祭る神社で、明治27年（1894）に碓氷社本社敷地の一角を無償貸与されて建立されました。敷地内には、明治26年（1893）の大霜（おおしも）による被害の後に、反省（懲毖）を込め、常に霜害に用心するための警鐘とした「霜災懲毖之碑」が建立されています。

●場所／安中市原市2-10-14
●交通／JR信越線磯部駅から車約10分
上信越自動車道松井田妙義I.Cから約20分
●見学／外観のみ見学可
● 問 ／安中市学習の森　TEL 027-382-7622

45 【養蚕】

うんもんじ　めみょうぼさつぞう
雲門寺の馬鳴菩薩像

馬鳴菩薩は、貧しい人々に衣服を施すとされる仏様です。雲門寺にある馬鳴菩薩は、天明7年（1787）に作られたものと言われ、古くから養蚕の豊作を願う地域の人々に信仰され、毎年4月には「豊蚕」を願う祭礼が行われてきました。一面六臂（顔面１つ、腕が６本）で白馬に跨り、桑や繭、養蚕道具等を手にしています。

●場所／安中市松井田町上増田624（雲門寺）
●交通／JR信越線松井田駅から車約30分
上信越自動車道松井田妙義I.Cから約15分
●見学／要予約
● 問 ／雲門寺　TEL 027-393-0335

46 世界遺産 国史跡 【養蚕】

あらふねふうけつ
荒船風穴

明治38年（1905）から大正3年（1914）に造られた、岩の隙間から吹き出す冷風を利用した蚕種（さんしゅ）（蚕の卵）の貯蔵施設で、取引先は全国４０道府県に及びました。３基の風穴があり、貯蔵能力は国内最大規模で、現在でも石積みの間から天然の冷風が吹き出しています。

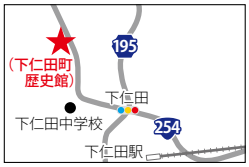
●場所／下仁田町大字南野牧甲10690-1外
●交通／上信電鉄下仁田駅からタクシー約30分
上信越自動車道下仁田I.Cから約50分＋徒歩15分
●見学／冬季（12月～3月）は閉鎖。風穴内部は立入禁止。
●料金／500円（高校生以下無料）
● 問 ／下仁田町歴史館　TEL 0274-82-5345

47 下仁田町重要文化財 【養蚕】

しゅんじゅうかんぶんしょ
春秋館文書

世界遺産「荒船風穴」を経営した「春秋館」に残された1081点の文書群です。全国各地からの蚕種貯蔵の委託の状況や、当時の経営状況、運営形態を伝える帳簿や営業案内が、下仁田町歴史館に収蔵されています。

●場所／下仁田町大字下小坂71-1（下仁田町歴史館）
●交通／上信電鉄下仁田駅から徒歩約20分
上信越自動車道下仁田I.Cから車約10分
●見学／展示資料以外の現物は非公開。非公開資料は電子画像による閲覧可（要予約）。
休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始
●料金／200円（高校生以下無料）
● 問 ／下仁田町歴史館　TEL 0274-82-5345



48 【流通】

きゅうこうずけてつどうかんれんしせつ しもにたそうこ
旧上野鉄道関連施設 下仁田倉庫

近隣産物の集散地である下仁田駅に隣接して、大正10年（1921）と15年（1926）に建てられた2棟のレンガ倉庫です。倉庫を経営した会社は、繭商人が農家から買い取った繭を保管したほか、繭乾燥業や金銭貸付業も営んでいました。

●場所／下仁田町下仁田430-1
●交通／上信電鉄下仁田駅から徒歩約1分
上信越自動車道下仁田I.Cから約10分
●見学／外観のみ見学可。敷地内は立入禁止。
● 問 ／下仁田町歴史館　TEL 0274-82-5345

49 高崎市重要文化財 【流通】

やわたはちまんぐうからかねとうろう
八幡八幡宮唐銅燈籠

総高5.01mある一対の青銅製の燈籠で、八幡八幡宮の大修復事業完遂記念物として、慶應3年（1867）に奉納されました。大願主は高崎出身の糸繭商で横浜で活躍した野沢屋惣兵衛。燈籠には高崎、横浜の糸繭商人や養蚕関係者など寄付者の名が刻まれています。

●場所／高崎市八幡町655-1
●交通／JR群馬八幡駅から徒歩約15分
関越自動車道高崎I.Cから約25分、
上信越自動車道吉井I.Cから約35分
●見学／随時見学可
● 問 ／高崎市文化財保護課　TEL 027-321-1292

50 高崎市史跡 【養蚕】

かしわぎさわ さんえいひ
柏木沢の蚕影碑

明治20年（1887）5月に、ひょう（雹）が降り、数十cmも積もりました。桑畑は全滅し、蚕に桑を与えられなくなったため、養蚕農家は泣く泣く丘に蚕を埋めました。この碑は蚕神を祀り、蚕を供養するために村人が建てたものです。

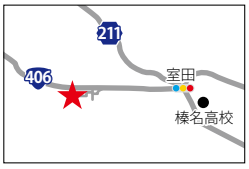
●場所／高崎市箕郷町柏木沢1936
●交通／JR高崎駅から車約40分
関越自動車道前橋I.Cから約30分
●見学／随時見学可
● 問 ／高崎市文化財保護課　TEL 027-321-1292

51 高崎市天然記念物 【養蚕】

おおはやしうまみち おお
大林馬道の大クワ

個人宅の入口にある樹高10mの桑で、樹齢は推定280年余りです。牛馬が荷を運ぶ交通手段であった時代には、各家に一時的に手綱をつなぎとめておく樹木があり、この木も昭和初期まで馬つなぎに活用されていました。

●場所／高崎市中室田町5158
●交通／JR高崎駅から車約40分
関越自動車道前橋I.Cから約50分
●見学／随時見学可
● 問 ／高崎市文化財保護課　TEL 027-321-1292



52 【教育・研究】

ぐんまけんりつにっぽんきぬ　さと
群馬県立日本絹の里

群馬県の伝統産業である養蚕の歴史や製糸・染織など天然繊維である絹の素晴らしさを紹介する拠点施設です。絹にまつわる様々な企画展示のほか染色・織り・まゆクラフトなどの体験学習も行っています。

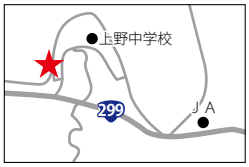
●場所／高崎市金古町888-1
●交通／JR高崎駅からバス約30分+徒歩20分
関越自動車道前橋I.Cから約20分
●見学／休館日:火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
※臨時休館あり
●料金／一般200円　大・高生100円、企画展開催時は特別料金
● 問 ／群馬県立日本絹の里　TEL 027-360-6300

53 国重要文化財【養蚕】

きゅうくろさわけじゅうたく
旧黒澤家住宅

幕府の天領だった上山郷（上野村）の大総代を務めた旧家。建物は切妻造り、栗板葺き石置屋根で、19世紀中頃の建築と考えられています。1階には13部屋ありますが、2階は仕切りのない広い板の間で養蚕のために使われていました。

●場所／上野村楢原200-9
●交通／上信越自動車道下仁田I.Cから約30分
●見学／休館日:水曜、年末年始
●料金／大人300円、小中学生100円
● 問 ／上野村教育委員会　TEL 0274-59-2657

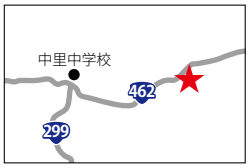


54 【養蚕】

いわさきたけまつおきな　こうとくひ
岩崎竹松翁の功徳碑

岩崎竹松は、製糸法や養蚕法を学び、内閣勧業博覧会で受賞するなど、蚕業技術の向上に貢献しました。また、高山社を設立した高山長五郎も竹松を訪ねており、共に研究を行っていました。功徳碑は竹松の没後10年が過ぎた明治42年（1909）11月に子弟により建てられました。

●場所／神流町大字魚尾1665-1
●交通／関越自動車道本庄児玉I.Cから約1時間15分
●見学／随時見学可
● 問 ／神流町教育委員会　TEL 0274-57-2111

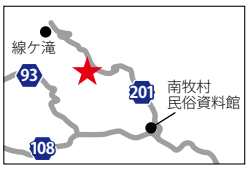


55 村指定重要文化財【養蚕】

ほしおふうけつ
星尾風穴

標高625mの山の斜面に築かれた、岩の隙間から吹き出す冷気を利用した蚕種（蚕の卵）の貯蔵施設です。蚕種を貼り付けた種紙を4万枚前後貯蔵できました。明治38年（1905）に貯蔵を開始しました。

●場所／甘楽郡南牧村大字星尾字桧木宮430-2
●交通／南牧村民俗資料館から車で約10分
●見学／風穴内部は立入禁止。足元が悪いため通行注意
● 問 ／南牧村教育委員会　TEL 0274-87-2011

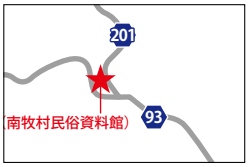


56 国登録有形民俗文化財【養蚕】

なんもく　ようさん　そうし　はたおりようぐ
南牧の養蚕・繰糸・機織用具

南牧村の養蚕は江戸時代から行われており、明治40年代には村の農業経営の中心となりました。繭の出荷だけでなく、繭から糸を挽き、農閑期には機を織っていました。当時の養蚕・繰糸・機織に関する用具329点が南牧村民俗資料館に収集・展示されています。

●場所／甘楽郡南牧村大字羽沢93
●交通／上信電鉄下仁田駅から南牧バス約35分
上信越自動車道下仁田I.Cから約30分
●見学／休館日：月曜、火曜、祝日、年末年始
● 問 ／南牧村民俗資料館　TEL 0274-87-2417



57 日本遺産 甘楽町重要文化財【製糸】

きゅうおばたぐみせいし　づくそうこ
旧小幡組製糸レンガ造り倉庫

養蚕農家が各家で生産した生糸を、作業場に集め品質をそろえて共同販売したのが組合製糸です。この地区では甘楽社小幡組が組織され、この倉庫は、繭や生糸を保管するために大正15年（1926）に建てられました。

●場所／甘楽町大字小幡852-1（甘楽町歴史民俗資料館）
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約5分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／休館日:月曜日、年末年始　外観は随時見学可
●料金／大人200円、中学生以下無料
● 問 ／甘楽町歴史民俗資料館　TEL 0274-74-5957

58 甘楽町重要文化財【製糸】

とみおかせいしじょうえま
富岡製糸場絵馬

富岡製糸場建設に携わった韮塚直次郎が、富岡製糸場の完成を記念して明治８年（1875）に甘楽町の笹森稲荷神社に奉納した絵馬です。富岡製糸場の全体を描いた鳥瞰図で、完成間もない富岡製糸場の様子を伺い知ることができます。甘楽町歴史民俗資料館に展示されています。

●場所／甘楽町大字小幡852-1（甘楽町歴史民俗資料館）
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約5分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／休館日：月曜日、年末年始
●料金／大人200円、中学生以下無料
● 問 ／甘楽町歴史民俗資料館　TEL 0274-74-5957

59 日本遺産【養蚕】

かんらまち　ようさん　せいし　おりものしりょう
甘楽町の養蚕・製糸・織物資料

大正初期には約7 割の世帯が養蚕農家だった甘楽町で使用された養蚕・製糸・織物に関する道具や資料330 点です。養蚕農家で使用されていた道具のほか世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の4資産と関連する資料もあり、甘楽町歴史民俗資料館に収蔵・展示されています。

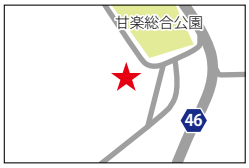
●場所／甘楽町大字小幡852-1（甘楽町歴史民俗資料館）
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約5分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／休館日：月曜日、年末年始
●料金／高校生以上200円
● 問 ／甘楽町歴史民俗資料館　TEL 0274-74-5957

60【製糸】

とみおかせいしじょうどだいせきざいさいくつじょうあと
富岡製糸場土台石材採掘場跡

富岡製糸場の建設にあたり、建物の土台等に用いる石材が3,300本切り出されました。
採掘跡が階段状に7段程度残されており、石の表面にはノミの跡が多数残されています。

●場所／甘楽郡甘楽町大字小幡1929-1
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約15分
上信越自動車道富岡I.Cから約15分
●見学／随時見学可（手すりがないため注意が必要）
● 問 ／甘楽町教育委員会　TEL 0274-74-3131

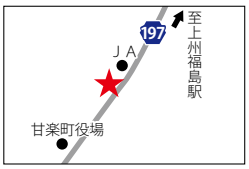


61 日本遺産【製糸】

かんらしゃおばたぐみゆらいひ
甘楽社小幡組由来碑

明治11年（1878）組合制による生糸揚返し場を作り、小幡精糸会社としてスタートした甘楽社小幡組の歴史と発展を伝えるため、大正6年（1917）3月に同組合敷地内に建てられた由来碑です。昭和53年（1978）に現在地へ移設されました。

●場所／甘楽町福島1761
●交通／上信電鉄上州福島駅から車約3分
上信越自動車道富岡I.Cから約10分
●見学／随時見学可
● 問 ／甘楽町社会教育課文化財保護係
TEL 0274-74-3131



62 沼田市重要文化財【養蚕】

きゅうすずきけじゅうたく　ぬまたしなんごう　まがりや
旧鈴木家住宅（沼田市南郷の曲屋）

東北地方の民家によく見られる形式で、県内では珍しい茅葺屋根の曲屋です。名主をつとめた旧家で、天明5年（1785）頃の建築ですが、後に養蚕のために台所の二階部分を蚕室とするなど改築が行われました。

●場所／沼田市利根町日影南郷158-1
●交通／JR上越線沼田駅からバスで約40分
関越自動車道沼田I.Cから約30分
●見学／休館日：木曜、年末年始
●料金／大人100円、中学生50円
● 問 ／沼田市利根支所　TEL 0278-56-2111